

一般社団法人国際法協会日本支部 2014年度事業報告書(2014.4.1~2015.3.31)

住所 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学法学部研究室内
代表理事 奥脇直也

当法人の2014年度終了に伴い、以下の通りご報告申し上げます。

1. 会員総会

定時会員総会を2014年4月19日13時30分~14時に東京大学山上会館において行った。
議事の詳細は、資料Aを参照(HP <http://www.ilajapan.org/> 参照)。

2. 理事会

第1回理事会を2014年4月19日12時~13時15分に東京大学山上会館において行った。
議事の詳細は、資料Bを参照(HP <http://www.ilajapan.org/> 参照)。

第2回理事会を2014年4月19日14時~14時20分に東京大学山上会館において行った。
議事の詳細は、資料Cを参照(HP <http://www.ilajapan.org/> 参照)。

第3回理事会を2014年11月18日18時30分~20時10分に学士会館において行った。
議事の詳細は、資料Dを参照(HP <http://www.ilajapan.org/> 参照)。

3. 事業活動その1 研究活動

① 国内大会

国内大会を2014年4月19日11時~18時に東京大学山上会館において行った。大会の詳細は次の通り。

統一テーマ「エネルギーと国際法」

午前の部 座長 中谷和弘・東京大学教授

世界エネルギー情勢と安全保障戦略 田中伸男・前国際エネルギー機関事務局長・東京大学教授

午後の部 座長 坂元茂樹・同志社大学教授

国際投資協定によるエネルギー投資の保護と投資協定仲裁——投資協定上の義務とエネルギー政策の転換 西元宏治・専修大学准教授

エネルギー国際取引の私法上の問題 野村美明・大阪大学教授

コメント 古田啓昌・東京大学教授・弁護士(アンダーソン・毛利・友常法律事務所パートナー)

原子力の平和利用をめぐる国際法 岡松暁子・法政大学教授

原子力損害賠償に関する国際枠組みと日本 道垣内正人・早稲田大学教授

② 世界大会

2014年4月にワシントンDCにおいて開催された第76回世界大会に国際委員会委員等を派遣した。

4. 事業活動その2 出版活動

英文国際法年報(Japanese Yearbook of International Law)第57巻の出版を行った。同巻は2015年3月に刊行された。同巻の目次は、資料Eを参照(同巻は各会員に郵送済。HP <http://www.ilajapan.org/> 参照)。

一般社団法人国際法協会日本支部 2014年度定時会員総会議事録

日時：2014年4月19日（土）13時30分～14時

場所：東京大学（本郷キャンパス）山上会館

会員総数：301名

出席者及び委任状提出者の総数：164名

出席理事（16名）： 塚場準一、安藤仁介、岩澤雄司、内田久司、鴻常夫、奥脇直也、兼原敦子、香西茂、櫻田嘉章、道垣内正人、中谷和弘、広部和也、松井芳郎、村瀬信也、森川幸一、柳井俊二

出席監事（2名）：折田正樹、川村明

村瀬信也代表理事が議長席につき、出席者及び委任状提出者の総数が164名ゆえ、定足数を満たし本総会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

審議事項1：2013年度事業報告及び同年度の決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）の承認の件

各担当理事（会計事項については欠席の会計担当理事にかわって庶務担当理事）より、2013年事業報告及び同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）について説明がなされ、全員一致、これを承認した。あわせて、庶務担当理事より、平成25年度公益目的支出計画実施報告書について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：2014年度事業計画及び同年度予算案の件

各担当理事（会計事項については欠席の会計担当理事にかわって庶務担当理事）より、2014年事業計画及び同年度予算案について説明がなされ、全員一致、これを承認した。あわせて、

審議事項3：新入会員及び特別会員の承認の件

庶務担当理事より、理事会としては、維持会員として1名（西村あさひ法律事務所）、通常会員として5名（川村真理・杏林大学准教授、濱田太郎・近畿大学准教授、太田洋・西村あさひ法律事務所弁護士、古田啓昌・アンダーソン・毛利・友常法律事務所弁護士、猪瀬貴道・北里大学准教授）の計6名を会員総会に新入会員として推薦し、会員総会の承認を頂きたい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。また、特別会員としては、小林麻紀氏及び小林賢一氏に代えて中村和彦氏及び御巫智洋氏を推薦し、会員総会の承認を頂きたい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。これにより、会員数は307名（通常会員288名、特別会員7名、維持会員12名）となる。

審議事項4：理事の選任の件

2012年4月の会員総会で選任された全理事の任期が本会員総会最終時までであるため、理事の選任を行い、新理事には、塚場準一、浅田正彦、石井正文、位田隆一、岩澤雄司、

鴻常夫、奥脇直也、小和田恒、兼原敦子、熊倉禎男、香西茂、坂元茂樹、櫻田嘉章、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、広部和也、松井芳郎、宮崎繁樹、村瀬信也、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内准介の25名を全員一致により選任した。被選任者は、席上、その就任を承諾した。

審議事項5：世界大会の日本開催の件

代表理事及び研究企画担当理事より、2020年に京都で開催予定の世界大会に向けての準備のあり方について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、村瀬信也（代表理事・議長）、奥脇直也（業務執行理事）、岩澤雄司（理事）は、次に記名押印する。

2014年 4月 30日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 村瀬信也

業務執行理事 奥脇直也

理事 岩澤雄司

議事録作成者 理事・庶務主任 中谷和弘

一般社団法人国際法協会日本支部 2014年度第1回理事会議事録

日時：2014年4月19日（土）12時～13時15分

場所：東京大学（本郷キャンパス）山上会館

理事総数：23名

出席者 理事（16名）舩場準一、安藤仁介、岩澤雄司、内田久司、鴻常夫、奥脇直也、兼原敦子、香西茂、櫻田嘉章、道垣内正人、中谷和弘、広部和也、松井芳郎、村瀬信也、森川幸一、柳井俊二

監事（2名）：折田正樹、川村明

欠席者 理事：石井正文、位田隆一、落合誠一、小和田恒、川又良也、熊倉禎男、宮崎繁樹

村瀬信也代表理事が議長席につき、出席理事が上記16名ゆえ、定足数を満たし本理事会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

報告事項：代表理事、業務執行理事、庶務担当理事庶務主任（庶務主任）、研究企画担当理事（研究企画主任）、編集担当理事（編集主任）から、自己の職務の執行の状況について報告がなされ、全員一致、これを承認した。なお、会計事項の状況については、会計担当理事欠席のため、かわりに庶務担当理事が事前に会計担当理事から説明を聴取した上で報告をし、全員一致、これを承認した。

審議事項1：2013年度事業報告及び同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）の承認の件

各担当理事（会計事項については欠席の会計担当理事にかわって庶務担当理事）より、2013年事業報告及び同年度決算案（貸借対照表及び正味財産増減計算書を含む）について説明がなされ、全員一致、これを承認した。あわせて、庶務担当理事より、平成25年度公益目的支出計画実施報告書について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：2014年度事業計画及び同年度予算案の件

各担当理事（会計事項については欠席の会計担当理事にかわって庶務担当理事）より、2014年事業計画及び同年度予算案について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項3：新入会員及び特別会員の件

庶務担当理事より、新入会員につき、維持会員1名（西村あさひ法律事務所）、通常会員5名（川村真理・杏林大学准教授、濱田太郎・近畿大学准教授、太田洋・西村あさひ法律事務所弁護士、古田啓昌・アンダーソン・毛利・友常法律事務所弁護士、猪瀬貴道・北里大学准教授）の入会を会員総会に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項4：新理事の件

代表理事より、舩場準一、浅田正彦、石井正文、位田隆一、岩澤雄司、鴻常夫、奥脇直也、小和田恒、兼原敦子、熊倉禎男、香西茂、坂元茂樹、櫻田嘉章、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、広部和也、松井芳郎、宮崎繁樹、村瀬信也、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介の25名を次期の理事候補者として会員総会に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項5：世界大会の日本開催の件

代表理事及び研究企画担当理事より、2020年に京都で開催予定の世界大会に向けての準備のあり方について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、村瀬信也(代表理事・議長)、折田正樹(監事)、川村明(監事)は、次に記名押印する。

2014年4月30日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 村瀬信也

監事 折田正樹

監事 川村明

議事録作成者 理事・庶務主任 中谷和弘

一般社団法人国際法協会日本支部 2014年度第2回理事会議事録

日時：2014年4月19日（土）14時～14時20分

場所：東京大学（本郷キャンパス）山上会館

理事総数：23名

出席者 理事（19名）畑場準一、岩澤雄司、鴻常夫、奥脇直也、兼原教子、香西茂、坂元茂樹、櫻田嘉章、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、広部和也、松井芳郎、村瀬信也、森川幸一、薬師寺公夫、柳井俊二、柳原正治、山内惟介

監事（2名）：折田正樹、川村明

欠席者 理事：浅田正彦、石井正文、位田隆一、小和田恒、熊倉禎男、宮崎繁樹

新代表理事が選出されるまでの間、村瀬信也前代表理事が議長席につき、出席理事が上記19名ゆえ、定足数を満たし本理事会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。

審議事項1：今期の代表理事、副代表理事、業務執行理事の選任

定款に従い、代表理事、副代表理事、業務執行理事（2名）を理事会の決議によって理事の中から選任することとし、代表理事には奥脇直也を、副代表理事には道垣内正人を、業務執行理事には熊倉禎男と中谷和弘を、全員一致により選出した。被選任者は、席上、その就任を承諾した。

審議事項2：今期の各主任の選任

主任規程に従い、各主任を理事会の決議によって理事の中から選任することとし、会計主任には熊倉禎男を、庶務主任には中谷和弘を、編集主任には森川幸一を、研究企画主任には岩澤雄司を、全員一致により選出した。被選任者は、席上、その就任を承諾した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、村瀬信也(代表理事・議長)、折田正樹(監事)、川村明(監事)は、次に記名押印する。

2014年4月30日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 村瀬信也

監事 折田正樹

監事 川村明

議事録作成者 理事・庶務主任 中谷和弘

一般社団法人国際法協会日本支部 2014年度第3回理事会議事録

日時：2014年11月18日（火）18時30分～20時10分

場所：学会館301号室

理事総数：25名

出席者

理事（17名）：柿沼準一、浅田正彦、岩澤雄司、鴻常夫、奥脇直也、兼原教子、熊倉禎男、番西茂、坂元茂樹、道垣内正人、鳥居淳子、中谷和弘、宮崎繁樹、森川幸一、薬師寺公夫、柳原正治、山内惟介

出席監事（2名）：折田正樹、川村明

オブザーバー：秋葉剛男

欠席者

理事（8名）：石井正文、位田隆一、小和田恒、櫻田嘉暉、広部和也、松井芳郎、村瀬信也、柳井俊二

奥脇直也代表理事が議長席につき、出席理事が上記17名ゆえ、定足数を満たし本理事会は有効に成立した旨を宣言し、議事に入った。秋葉剛男氏をオブザーバーとして同席することが諮られ、全員一致、これを承認した。

報告事項：代表理事、業務執行理事、各主任による報告

代表理事、業務執行理事、各主任（庶務、会計、編集、研究企画の各担当理事）から自己の職務の執行の状況について報告がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項1：2014年度事業報告及び同年度予算執行状況の件

各担当理事より、2014年事業報告及び同年度予算執行について説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項2：新入会員及び特別会員に関する件

庶務担当理事より、通常会員1名（鈴木悠理・外務省在ハンブルク出張駐在官事務所法務担当専門調査員）の入会及び特別会員2名の交代（石井正文氏にかわり秋葉剛男氏、山上信吾氏にかわり島田順二氏）を来年4月の会員総会に推薦したい旨の説明がなされ、全員一致、これを承認した。

審議事項3：世界大会の件

代表理事より、2020年に京都で開催される世界大会について、①日時・場所については、同年8月23日（日）から8月27日（木）に京都国際会館で行うことで準備をすすめ、来年4月の会員総会に諮ること、②世界大会の準備の体制については、理事会の下に京都大会執行部を設置し、さらに京都大会執行部の下に財政委員会と大会運営委員会をおくこと、③京都大会執行部については、部長に柳井会長、副部長に道垣内副代表理事を充てること、委員には、熊倉会計主任、村瀬理事、岩澤研究企画主任、森川編集主任、番西理事、柳原理事、浅田理事、坂元理事を充て、中谷庶務主任が幹事をつとめること、④財政委員会については、委員長には熊倉会計主任を充て、10名前後の委員で構成し、道垣内副代表理事、柳原理事が委員となり、中谷庶務主任が幹事をつとめること、⑤大会運営委員会については、企画、会議運営、広報、文化の4つの小委員会を設けること、岩澤理事と浅田理事が共同委員長を、酒井啓亘会員が幹事をつとめること、⑥各機関の委員の人は代表理事及び各機関の長に一任頂きたいこと、が諮られ、全員一致、これを承認した。

審議事項4：その他

特になし

以上、この議事録が正確であることを証するため、奥脇直也（代表理事・議長）、折田正樹（監事）、川村明（監事）は、次に記名押印する。

2014年12月1日

一般社団法人国際法協会日本支部

代表理事（議長） 奥脇直也

監事 折田正樹

監事 川村明

議事録作成者 理事・庶務主任 中谷和弘

Volume 57 (2014)

CONTENTS

IN MEMORIAM

The Honorable Dr. Soji Yamamoto (1928-2013)	<i>Naoya Okuwaki</i>	1
Professor Akira Kotera (1952-2014)	<i>Naoya Okuwaki</i>	4

ARTICLES

THE HAGUE CHILD ABDUCTION CONVENTION

Introductory Note: Japan's Conclusion of the Hague Convention on the Civil Aspect of International Child Abduction	<i>Tatsushi Nishitoka and Takako Tsujisaka</i>	7
--	--	---

International Child Abduction Cases and the Act for the Implementation of the Hague Convention — Impact on Domestic Cases and Family Law — ...	<i>Masayuki Tanamura</i>	24
--	--------------------------	----

Case Proceedings for the Return of an Abducted Child and the Compulsory Execution in Japan.....	<i>Masako Murakami</i>	33
---	------------------------	----

The 1980 Hague Convention and Mediation — A German Perspective —	<i>Martina Erb-Klünemann</i>	56
--	------------------------------	----

Return Orders under the 1980 Hague Convention on the Civil Aspects of International Child Abduction — The Issues Facing the Japanese Courts —	<i>Nigel Vaughan Lowe</i>	77
---	---------------------------	----

THE ROLE OF PROMINENT JURISTS IN JAPAN'S ENGAGEMENT WITH INTERNATIONAL LAW, 1853-1945: PART TWO

NISHI Amane and International Law — A Pioneer's Struggle with European Jurisprudence in Early Modern Japan —	<i>OKUBO Takeharu</i>	102
--	-----------------------	-----

TAOKA Ryoichi's Contribution to International Legal Studies in Pre-war Japan: With Special Reference to Questions of the Law of War
 Urs Matthias Zachmann 134

REDEFINING THE THEORETICAL GROUNDS FOR THE COLLABORATION BETWEEN PUBLIC LAW AND PRIVATE LAW IN THE ERA OF GLOBALIZATION

From the Theory of Private Law to Legal Pluralism: On the Reconstruction of Private Law in the Age of Globalization Yuki Asano 163

Conflict of Laws in the Era of Globalization Dai Yokomizo 179

The Law, Governance, and Society in the Context of Globalization — Renewed Formation of the Law and Sovereign States —
 Takeshi Fujitani 195

Establishing Partnership between Public and Private Law in Globalized Policy-Making and Enforcement Processes: A Focus on Social Security Law
 Hiroki Harada 217

Does the Concept of Law Need to Be Revised in the Face of Globalization? NASU Kosuke 228

JAPANESE COURT CASES INVOLVING EAST ASIAN CITIZENS AND CORPORATIONS: PART TWO

Japanese Court Cases Involving East Asian Citizens and Corporations — Law Applicable to International Transactions with Chinese, Taiwanese, and Korean Parties before Japanese Courts — Yuko Okano 243

A Study of a Series of Cases Caused Non-recognition of a Judicial Judgment between Japan and Mainland China — A Cross-border Garnishment Order of the Japanese Court Issued to a Chinese Company as a Third-party Debtor — Satoshi Watanabe 287

PUBLIC INTERNATIONAL LAW

The Cultural Aspects of Sustainable Development Maki Nishiumi 305

Effectiveness of the Institutional Approach to an Alleged Violation of International Law: The Case of Syrian Chemical Weapons Tatsuya Abe 333

Defining the Future by Studying the Past: A Negotiator's Perspective on the Arms Trade Treaty Tomoaki Ishigaki 371

CASES AND ISSUES IN JAPANESE PRIVATE INTERNATIONAL LAW

Determination of the National Laws of Two Persons with Nationality of the Same Non-unified State Tadasaki Kanzaki 415

Japanese Jurisdiction of International Child Custody Cases and Other Parent-child Matters Yukiko Oda 429

BOOK REVIEWS

Jinrut no Michishirube toshiteno Kokusaibo — Heiwa, Jiyu, Hanei wo Mezashite: Yokota Yozo Sensei Koki-Kinen Ronbun-Shu (Humane International Law for Peace, Liberty, and Prosperity: Essays in Celebration of the 70th Birthday of Professor Yozo Yokota), edited by Hiroko Akizuki, Kazuhiro Nakatani, and Maki Nishiumi. Tokyo: Kokusai Shoin, 2011.
 SHIN Hae Bong and Takeo Horiguchi 439

Business Law in Japan — Cases and Comments. Intellectual Property, Civil, Commercial and International Private Law — Writings in Honour of Harald Baum, edited by Moritz Bälitz, Marc Dernauer, Christopher Heath, and Anja Petersen-Padberg. Alphen aan den Rijn: Kluwer Law International, 2012.
 Béatrice Jaluzot 444

Intellectual Property in the Global Arena. Jurisdiction, Applicable Law, and the Recognition of Judgments in Europe, Japan and the US, edited by Jürgen Basedow, Toshiyuki Kono, and Axel Metzger. Tübingen: Mohr Siebeck, 2010.
 Dário Moura Vicente 446

Deutschland und Japan: Zwei Ökonomien im rechtlichen Dialog [Germany and Japan: A Legal Dialogue between Two Economies] (Zeitschrift für Japanisches Recht, Special Issue 6), edited by Harald Baum. Köln: Carl Heymanns Verlag, 2012. Gabriele Koziol 450

Kokusai Ketyaku Jitsumu no tame no Yobo Hogaku — Junkyobo, Saiban Kankaisu, Chusai Joko [Fundamentals of Drafting Boilerplate Clauses in International Contracts], by Masato Dogauchi. Tokyo: Shoji Hornu, 2012.
 Yoshimasa Furuta 453

Kokusaibo ni Okeru Kenketsu-Hoju no Hori [Jurisprudence on the Filling of Lacunae in International Law], by Jun'ichi Eto. Tokyo: Yuhikaku, 2012.
 Dai Tamada 455

<i>Syukunmenjo no Kokusaiho</i> [Public International Law Aspects of Foreign State Immunity], by Tomonori Mizushima. Nagoya: The University of Nagoya Press, 2012. <i>Sbizuka Sakamaki</i>	457
<i>Guo ji fa: Guo ji fa de fa yuan lun</i> [International Lawmaking: Sources of Law in International Law Theory], by Shinya Murase, translated by Yihe Qin. Beijing: People's Public Security University of China Press, 2012. <i>ZHANG Xinjun</i>	461
<i>Fuhenteki Kokusaisyakai eno Hou no Chousen — Serita Kentarou Sensei Koki Kinen</i> [Legal Challenges to Establish a Universal International Society: Festschrift for Professor Kentaro Serita on the Occasion of His Seventieth Birthday], edited by Shigeki Sakamoto and Kimio Yakushiji. Tokyo: Shinzansya, 2013. <i>Kohki Abe</i>	465
<i>Kokusaisaiban no Hanketsukouron</i> [Legal Effect of Judgment of International Court and Tribunal], by Dai Tamada. Tokyo: Yuhikaku, 2012. <i>Yoshiyuki Lee-Iwamoto</i>	469
<i>Theory and Politics of the Law of Nations: Political Bias in International Law Discourse of Seven German Court Councilors in the Seventeenth and Eighteenth Centuries</i> , by Tetsuya Toyoda. Leiden: Martinus Nijhoff Publishers, 2011. <i>Kinji Akashi</i>	472
<i>Nijūichi Seiki Kokusai Shihō no Kadai</i> [Challenges for Private International Law of the Twenty-First Century], by Koresuke Yamauchi. Tokyo: Shinzansha, 2012. <i>Ai Murakami</i>	476
JUDICIAL DECISIONS IN JAPAN	479
I. Public International Law	
Supreme Court (Grand Bench), Decision, September 4, 2013..... <i>Article 900(ii) of the Civil Code — Discrimination against Children out of Wedlock with Respect to Their Statutory Inheritance Share — Equality under the Law — Article 14(1) of the Constitution — the International Covenant on Civil and Political Rights — the Convention on the Rights of the Child</i>	480
Tokyo District Court, Judgment, April 16, 2012..... <i>Chemical Weapons Abandoned by the Imperial Japanese Armed Forces in China during WWII — Damage to Local Residents — Obligation to Destroy Abandoned Chemical Weapons under the CWC — Memorandum of Understanding on the Destruction of Abandoned Chemical Weapons in China — Unlawfulness of the Omission</i>	487

Tokyo District Court, Judgment, February 1, 2013 <i>Piracy on the Arabian Sea — Conformity of the Act on Punishment of and Measures against Acts of Piracy to the Constitution — Surrender and the Criminal Jurisdiction of a State Other Than the Seizing State — Appropriateness of the Criminal Procedure</i>	496
Kyoto District Court, Judgment, October 7, 2013..... <i>Hate Speech — Tort — Racial Discrimination — Articles 1(1), 2(1), and 6 of the International Convention on the Elimination of All Forms of Racial Discrimination</i>	503
II. Private International Law	
Tokyo High Court, Decision, November 2, 2012..... <i>Act on Recognition of and Assistance for Foreign Insolvency Proceedings — Primary Foreign Proceedings — Centre of Main Interests — UNCITRAL Model Law on Cross-Border Insolvency</i>	511
Tokyo High Court, Judgment, February 28, 2013..... <i>Appeal Case Claiming Damages — Container Vessel Accident in the Mediterranean — Place Where the Facts Constituting the Cause Occurred — Applicable Law — Appeal Partially Approved</i>	517
Tokyo District Court, Decision, April 26, 2013..... <i>Execution of Foreign Judicial Decisions — International Choice of Law — Offset of Judgments</i>	522
Tokyo District Court, Judgment, August 23, 2013..... <i>Governing Law of an Arbitration Agreement — Form Requirements for an Arbitration Agreement — Mistake</i>	526
Tokyo District Court, Judgment, October 21, 2013..... <i>International Jurisdiction — the Place Where the Tort Took Place — Special Circumstances</i>	531
CHRONOLOGY OF JAPANESE FOREIGN AFFAIRS IN 2013.....	543
CHRONOLOGICAL LIST OF TREATIES AND OTHER INTERNATIONAL AGREEMENTS CONCLUDED BY JAPAN IN 2013	560

xiv CONTENTS

DOCUMENTS

I. National Legislation

Act for Implementation of the Convention on the Civil Aspects of
International Child Abduction..... 563

II. Other Documents

1. Japan - Taiwan Fishery Arrangement..... 597

2. Cabinet Decision on Development of Seamless Security Legislation to Ensure
Japan's Survival and Protect Its People, and Other Related Documents 601

ACTIVITIES

I. Activities of the International Law Association of Japan..... 664

II. Activities of Related Academic Associations in Japan 670

INSTRUCTIONS FOR SUBMISSIONS TO THE JYIL 681

TABLE OF CASES 684

TABLE OF TREATIES AND OTHER INSTRUMENTS 687